



EMを使うとメリットいっぱい!

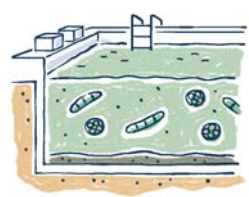
人にも環境にも優しいEMで、らくらくプール掃除! 始めるなら今がチャンスです。

EMを使うと、こんなに変わります!!

使用しないと



落ち葉や土ほこりがプールの水に混じり、水の中の栄養分が増える。



栄養分が腐って底にたまってヘドロとなったり、アオミドロやツツミモなどの植物性プランクトンが増えたりして、水が緑色に濁ってくる。



悪臭が強くなり、汚れもたまって取れにくくなる。

掃除が大変

- ・塩素などを使って掃除をするため、ニオイがきつい。肌の弱い子は掃除に参加できない。
- ・1回で掃除が終わらず、結局先生たちで残った汚れを落とすなど、二度手間なことが多い。
- ・ぬめりがひどく、すべて転ぶ子どもたちが多い。
- ・薬剤を使って掃除をすると、大量に流した水が環境に与える影響も大きい。



そこでEMを活用!!



プールシーズン後に投入。



プールの壁や底にEMがすみつき、ヘドロを分解。



プール掃除前にも投入。水の汚れやヘドロも減って、ぬめりも軽減。

掃除が簡単!しかも安心!

- プールにたまった泥や汚れに悪臭がない。
- ぬめりが少ないから、掃除の時も滑らず安心。
- 環境学習にも役立つ。
- 薬剤を使わないから安心。
- 汚れが落ちやすいから、時間と手間がかからない。
- 掃除で流した水も環境にやさしい。

あなたの地域の学校や公共プールでも、ぜひお試しください!!



EM生活実践講座 VOL.3



その1 プール清掃にEMを使おう!!

シーズン後の投入が決め手!!

学校のプールなどは夏が終わっても水をはったまま。翌シーズンまで、底に落ち葉やヘドロがたまりがちです。そこでEMを入れておくと、翌シーズンの掃除がぐんと楽に! 春、プール開き前の掃除にもEMを使えば、とても安全・安心です。

用意するもの



EM活性液 (またはEM米のとぎ汁発酵液)
秋...100~150リットル
春...150~300リットル

※以下はEM活性液もEM米のとぎ汁発酵液も同じ効果のため、EM活性液と表記

EMを培養するときには、米のとぎ汁がおすすめ!

米のとぎ汁を原料にすれば、川や海の汚染の原因を減らすだけでなく、浄化源として利用することができます。EMの発酵力によって分解された糖分やデンプンが他の微生物たちの餌となって、生態系の改善にもつながります。またEM活性液づくりからプール清掃までを児童・生徒みんなで行うことで、環境学習の一環にもなります。

※EM活性液は水を原料にしてEMを培養したもので、EM米のとぎ汁発酵液は米のとぎ汁を原料にしたものをいいます。詳しいつくり方はHPをご覧ください。

使うのは秋と春!

秋 20m×15mプールの場合
＜来年のために、100~150リットル＞
プールを使わなくなったら、ためている水にEM活性液を100~150リットルを入れるだけ。気になる水や底の汚れ、ヌルヌルが緩和されるため、翌シーズン再開前の掃除がしやすくなります。



春 20m×15mプールの場合
＜プール清掃1ヶ月前に、150~300リットル＞
掃除予定日の1ヶ月以上前にEM活性液を150~300リットルを入れるだけ。
※秋にEMを入れておかなかった場合は300リットルを入れます。
掃除の当日はブラシでこすって洗い流すだけでOK!



- 【注意点】
- EM活性液の量はプールの水量によって調整してください。目安としてプールの体積に対して秋は2000分の1~3000分の1、春は1000分の1ぐらいが適量です。
 - 汚れが付きやすいコンクリートのむき出しのプールなどは、EM活性液の量を2倍にするか、投入回数を増やしてください。
 - 水抜き後はすぐに掃除を行ってください。水抜きした後、数日置いてしまうと乾燥して汚れが落ちにくくなります。



EM生活のホームページにも掲載されています。TOPページ「EM生活実践講座」からダウンロードできます。
ホームページ <http://www.em-seikatsu.co.jp>